





政策目標3 安心、共生のくらしづくり/政策5 健やかで思いやりのある地域社会の形成

政策分野21 ユニバーサルデザイン

目指す姿	
年齢、性別、身体的能力、言語の違いなどにかかわらず、誰もが暮らしやすく、活動しやすいユニバーサルなまち	
施策	
施策番号	名称 施策の内容
施策1	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等を なくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div> <p>ユニバーサルデザインの推進</p> <p>「ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、情報の提供や研修会の開催などにより、広くユニバーサルデザインの理念の普及促進を図ります。また、様々な分野においてユニバーサルデザインの導入を図ることにより、すべての人にとってやさしく暮らしやすいまちづくりを推進します。</p>

1 政策分野の進捗状況

重要業績評価指標の達成状況						
指標名				単位	説明又は計算式	
1	ユニバーサルデザインの認知度				%	ユニバーサルデザインの言葉を知っており、考え方や意味も知っている人の割合
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	最終目標	検証
	目標	51.5	53.0	54.5	57.5	「ユニバーサルデザイン」という言葉は一定程度普及しているが、考え方や意味を知っている人の割合は少ないため、引き続き、その理念の普及啓発に努める必要がある。
	実績	30.9 (令和3年度)	-	-		

2 施策の評価

施策1	ユニバーサルデザインの推進
今年度の重点方針(方向性)	<p>「ユニバーサルデザイン推進プラン」に基づき、情報の提供や研修会の開催などにより、広くユニバーサルデザインの理念の普及促進を図る。また、様々な分野においてユニバーサルデザインの導入を図ることにより、すべての人にとってやさしく暮らしやすいまちづくりを推進する。</p>
取組状況	<p>令和4年3月に「第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」(期間：令和4年度から5年間)を策定し、「すべての人にやさしく、暮らしやすいまち」の実現を目指して様々な施策に取り組んでいる。</p> <p>【1】ユニバーサルデザインの理念の普及啓発 講演会、ワークショップ、セミナー、子ども向け体験講座、出前講座の開催や、市政モニターアンケートの実施、啓発用パンフレットの配布等により、ユニバーサルデザインの理念の普及を図っている。また、すべての人に分かりやすい情報発信について、全庁的な取組の指針となる「分かりやすい情報発信ガイドライン(仮)」の策定に向けて取組を進めている。</p> <p>【2】安全、安心、快適なまちづくりの推進 ソフト施策とハード整備をそれぞれ補完するかたちで実施するとともに、各種計画・施策・事務事業において全庁的にユニバーサルデザインの理念に基づき取組を進めている。</p>
課題認識と今後の方針・改善点	<p>「第4次会津若松市ユニバーサルデザイン推進プラン」に示している各施策・事業を全庁的かつ計画的に推進していくことが必要であることから、市政モニターアンケート等を通して得られた意見を庁内で共有し、PDCAサイクルの手法により継続的な改善(スパイラルアップ)を行いながら、庁内各課と連携して様々な分野において取組を推進する。</p> <p>【1】ユニバーサルデザインの理念の普及啓発 ユニバーサルデザインの推進のためには、その考え方に対する理解が重要であることから、引き続き、出前講座やワークショップ等の開催、子ども向けの体験講座の実施、市政モニターを活用した意識調査、ホームページや市政だより等を活用したユニバーサルデザインの考え方に関する情報発信を行う、また特にユニバーサルデザインの基盤となる「こころのユニバーサルデザイン」の推進に重点を置き、ユニバーサルデザインの社会の基盤となる意識づくりと行動の促進を図る。</p> <p>【2】安全、安心、快適なまちづくりの推進 生活の中のあらゆる場面でユニバーサルデザインが標準となるよう、第4次プランで定めている4つの重点事項を踏まえながら、ICTサービス等による利便性の向上の取組や、窓口環境・窓口サービスの改善等のソフト施策、施設の建設・改修等のハード整備において、情報発信や意識啓発に取り組む。また、市や事業者のユニバーサルデザインの取組事例の紹介等をおして、ユニバーサルデザインに関する理解促進に努めるとともに、多くの事業者への普及を図っていく。</p>

3 関連する政策分野と事務事業

政策分野	事務事業名	担当部・課名

4 施策の最終評価

- ・政策分野21「ユニバーサルデザイン」の推進にあたっては、「2 施策の評価」に従い取り組むこと。
- ・施策1「ユニバーサルデザインの推進」については、ユニバーサルデザインの基盤となる「こころのユニバーサルデザイン」の推進に重点を置き、意識づくりと行動の促進を図ることが重要であり、さらなる市民理解が必要であることから、出前講座等による理念の普及啓発の充実を図り、誰もが暮らしやすいユニバーサルなまちの実現を目指していく。

5 事務事業一覧

番号	ロジック モデル	重点 事業	人口減 少対策 ※	SDGs ターゲ ット	事務事業名	次年度 方針	担当部・課
施策1 ユニバーサルデザインの推進							
1		◎		10.2	ユニバーサルデザイン推進事業（ユニバーサルデザイン推進プランの推進）	継続	企画政策部 協働・男女参画室
2		◎		10.2	ユニバーサルデザイン推進事業（ユニバーサルデザインの理解促進）	継続	企画政策部 協働・男女参画室

※人口減少対策に資する事業を「第2期 会津若松市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」で定める4つの基本目標に分類して表記しています。

柱1 ICTと既存産業・資源を活用したしごとづくり

柱2 地域の個性を活かした新たなひとの流れの創出

柱3 生活の利便性を実感できる安全・安心なまちづくり

柱4 結婚・出産・子育て支援と教育環境の整備

施策1 ユニバーサルデザインの推進

1	事業名	ユニバーサルデザイン推進事業（ユニバーサルデザイン推進プランの推進）	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	すべての人にやさしく、暮らしやすいまちの実現のため、ユニバーサルデザイン推進プランに基づき、各施策・事業を計画的に推進する。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	0	0
			所要一般財源	0	0
概算人件費			461	461	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	市民意識調査・ワークショップ等の実施を経て第4次プラン（計画期間：令和4年4月～令和9年3月）を策定し、各種計画・施策・事務事業における全庁的なユニバーサルデザインの理念に基づいた取組を推進している。都市計画マスタープランや学校改築・改修計画、地域防災計画、庁舎整備基本計画など、市の各種計画等にユニバーサルデザインの視点が盛り込まれるなど、その重要性、必要性が浸透している。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	ユニバーサルデザインは、はじめから、すべての人のことを考え、生活や活動がしやすい環境づくりを行うものであり、常に改善を目指す終わりのない取組である。このことから、第4次プランに示している各施策・事業を計画的に推進していくため、市政モニターアンケート等を通して得られた意見を庁内で共有し、PDCAサイクルの手法により継続的な改善を行いながら、庁内各所属で連携して様々な分野において取組を推進する。				
2	事業名	ユニバーサルデザイン推進事業（ユニバーサルデザインの理解促進）	法定／自主	自主	
	担当部・課	企画政策部 協働・男女参画室	次年度方針	継続	
	概要 (目的と内容)	ユニバーサルデザインに関する講演会、ワークショップ、セミナー、出前講座、子ども向け体験講座の開催や情報発信等を行い、市民に対してユニバーサルデザインの理解促進を図る。	財務内容 単位(千円)	令和5年度 (予算)	令和6年度 (見込み)
			事業費	224	224
			所要一般財源	93	93
概算人件費			1,106	1,106	
これまでの 取組状況 (主な取組と 成果)	市民や職員を対象とした講演会やワークショップ、セミナー、子ども向け体験講座、学校・市民団体・事業所等に出向く出前講座の開催に加えて、市政モニターアンケートの実施、啓発用パンフレットの配布等によりユニバーサルデザインの理念の普及・啓発を図っている。また、すべての人に分かりやすい情報発信について、全庁的な取組の指針となる「分かりやすい情報発信ガイドライン（仮）」の策定に向けて取組を進めている。				
事業の検証 (課題認識/ 今後の方針・ 改善点)	ユニバーサルデザインの推進のためには、その考え方に対する理解が重要であり、更なる認知度の向上が課題である。引き続き、ユニバーサルデザインに関する意識啓発や学ぶ場の提供、情報発信を行うとともに「こころのユニバーサルデザイン」の推進に重点を置き、ユニバーサルデザインの社会の基盤となる意識づくりと行動の促進を図る。				